

順風満帆では何も生まれない。
幸福の秘訣は、自分の歩幅を大切にし、
自分を認め、自分をほめてやること。



Text: Miho Kumon

エッセイストで、ラジオ番組のパーソナリティを務め、講演も多数。大学教授の妻で、自らも大学の非常勤講師——。こう聞けば、恵まれた環境のなか、順風満帆に歩んできた女性をイメージするかもしれない。だが、滝悦子さんはそう思われることを、きっと好まないだろう。15歳で父を亡くし、病弱な母の面倒をみながら、仕事を、そして人生を、自らの手でたぐりよせてきた自負がある。「順風満帆では何も生まれない」と語る滝さんに話を伺った。

父の破産と急死、
病の母を背負って
大学進学を断念

南に衣着せぬ痛快なトークと親しみやすいキャラクターで、ラジオ番組や講演会でも人気の滝悦子さん。福岡を代表する文化人の一人だが、実は長崎県島原半島の漁師町の出身だ。

生家は波打ち際まで歩いて2、3分の所にあつた。当然、新鮮な海の幸に恵まれた環境で、しかも母方の実家は料理屋を営み、「代々、食道楽のため破産した家系」。また、父は菓